

2009 年 1 月 13 日

日立ソフト

## スプレッドシート統制ソフトウェア「iCOT SSLogger」の販売を開始 ～ 計算式・マクロの変更履歴を採取し、IT 統制を容易に実現～

日立ソフト（本社：東京都品川区、執行役社長：小野 功）は、重要度の高い Excel ファイルの計算式とマクロ<sup>（注）</sup>の変更履歴を監査証跡として取得し、監査レポートを出力するソフトウェア「iCOT SSLogger（アイコットエスエスロガー）」を、1 月 14 日から販売します。iCOT SSLogger は、金融商品取引法による内部統制報告制度（以下、J-SOX 法）や金融庁検査などで求められるスプレッドシート（表計算ソフト）の統制環境を既存業務運用の変更をすることなく実現します。

（注）マクロ：よく用いる操作手順をプログラムとして登録しておき、任意に呼び出して実行させる機能

従来、スプレッドシートである Excel ファイルの利用において、

- （１）計算式・マクロの作成 / 検証時に誤り・改ざん
- （２）データ入力時に計算式が誤って上書き・削除
- （３）データ入力時に計算式・マクロが改ざん

等の問題に対して、統制が十分に実施できていませんでした。また、提出された Excel ファイルを確認しても、計算式・マクロの誤り・改ざんを発見することが難しく、監査のエビデンスもなく、信頼性が証明できないなどの課題がありました。こうした誤りや不正が発生しないように予防的統制を実現しようとする多大な作業が発生します。

また、スプレッドシート統制に関しては、日本公認会計士協会が公表している内部統制監査の指針である「監査・保証実務委員会報告第 82 号『財務報告に係る内部統制の監査に関する実務上の取扱い』」にて具体的な監査方法が規定されており、金融庁検査のリファレンスである「金融検査マニュアル」においても規定されるなど、その統制強化の必要性が求められてきています。

iCOT SSLogger は、統制管理対象とした Excel ファイルの計算式・マクロの承認履歴と変更履歴、及び Excel ファイルの操作履歴を収集し、監査レポートに履歴内容出力することにより、改ざんを容易に発見することができます。また、当該監査レポートを監査証跡とすることにより、内部監査において該当する Excel ファイルの信頼性を証明できます。

当社では、iCOT SSLogger を、J-SOX 法の対象となる上場企業とその連結対象企業、及び金融機関を対象に、3 年間で 600 セットの販売を目標としています。

～今回の発表に対し、マイクロソフト株式会社から以下のコメントを頂いております～

マイクロソフト株式会社 ジャパングローバルパートナー統括本部

日立ビジネス本部 本部長 大小田 隆 様

『iCOT SSLogger』の提供開始おめでとうございます。

企業において迅速な対応が求められる J-SOX 法や内部統制制度について、『iCOT SSLogger』による変更履歴の記録と監査レポート出力は、Microsoft® Excel ファイルのスプレッドシート統制環境の整備を簡単かつ強力にサポートするものと確信しております。

#### < iCOT SSLogger の主な特徴 >

Excel ファイルに対するさまざまな統制管理機能

- ・ 統制を必要とする Excel ファイルだけを管理対象として設定
- ・ 統制管理対象として設定している Excel ファイルの一覧を作成
- ・ 統制管理対象の Excel ファイルに対して、計算式・マクロの承認を行い、その承認履歴を取得
- ・ 承認した統制管理対象の Excel ファイルに対する、計算式・マクロの変更履歴を記録
- ・ 統制管理対象の Excel ファイルの「開く」「閉じる」「印刷」などの操作履歴を記録
- ・ シート単位にボタンを押すだけで計算式の入ったセルをロックすることが可能
- ・ 統制管理対象 Excel ファイルに対して、計算式・マクロに変更が無いことを証明する監査レポートを作成

統制管理対象となる Excel ファイルの保存場所を変えることなく、アクセス権やバックアップ環境もそのまま導入が可能

Excel の操作は従来のもので、変更履歴の取得が可能

統制管理対象の設定、計算式・マクロの承認、監査レポートの出力といった操作は、Excel のツールバーから実行が可能

#### < 稼働環境 >

クライアント P C

CPU	Intel Pentium III 1GHz 以上 または同等の互換プロセッサを推奨
OS	Microsoft Windows 2000 Professional ( SP4 ) Microsoft Windows XP Professional ( SP2 ) 以上 Microsoft Windows Vista Business
HDD	20MB 以上 ( 管理対象ファイルの容量は含まない )
メモリ	128MB 以上
前提アプリケーション	Microsoft Excel 2000 ( SP3 ) / XP ( SP3 ) / 2003 ( SP3 ) / 2007 ( SP1 )

ログ管理サーバ

CPU	Intel Pentium III 1GHz 以上 または同等の互換プロセッサ
OS	Microsoft Windows Server 2003 ( SP2 )
HDD	1 GB 以上 ( 別途、ログ保管用の DB ( データベース ) 領域が必要になります )
メモリ	1 GB 以上
前提アプリケーション	Microsoft SQL Server 2005 Express Edition ( SP2 ) *1 または Microsoft SQL Server 2005 Standard Edition ( SP2 ) または Microsoft SQL Server 2005 Workgroup Edition ( SP2 ) Microsoft Internet Information Server 6.0

\*1. 別途 Microsoft SQL Server Management Studio Express が必要

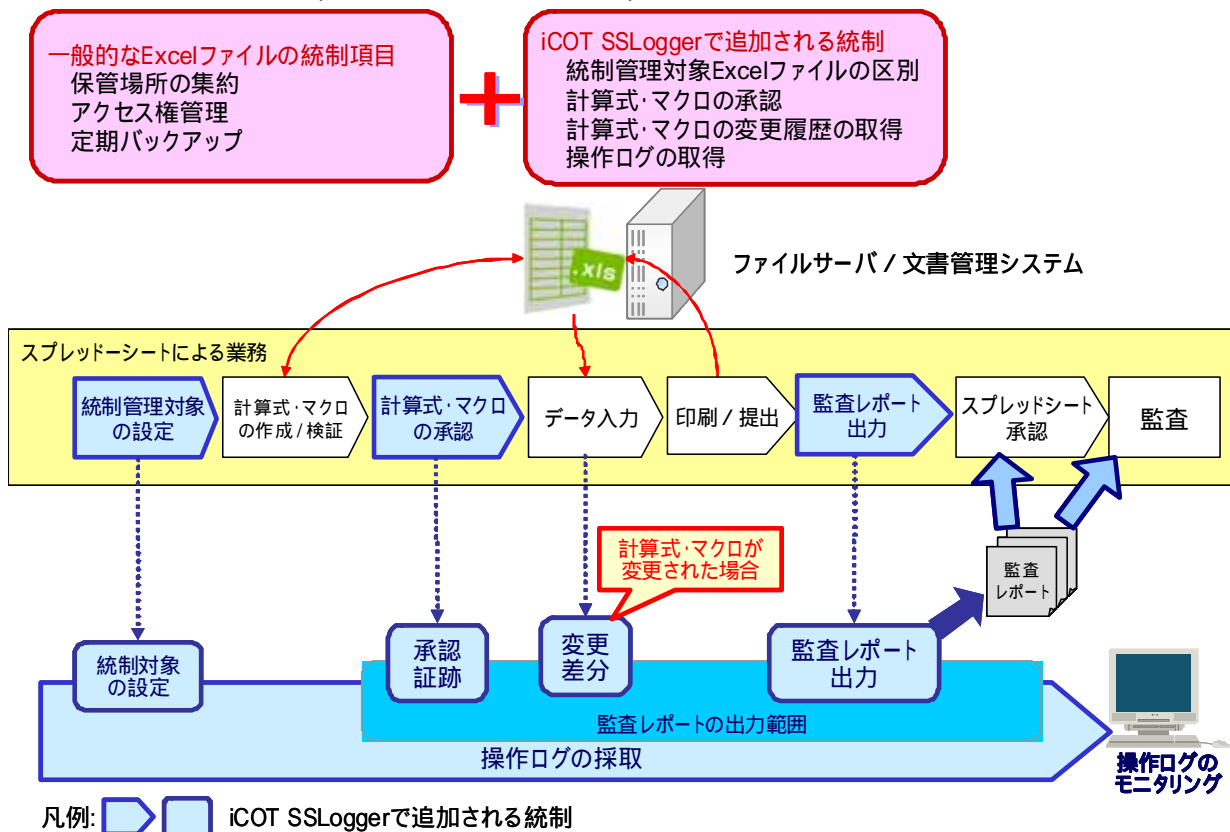
 日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社

〒140-0002 東京都品川区東品川4丁目12番7号 (日立ソフトタワーA)  
TEL. (03) 5780-2111 (大代)

ホームページ <http://hitachisoft.jp/>

## < iCOT SSLogger の動作イメージ >

### Excelファイルのログ(承認証跡・変更差分)の採取と監査レポート出力



< 出荷開始時期 > 2009 年 1 月 30 日

< 製品価格 > (税込み)

- ・スタンダードモデル 157 万 5 千円 (上限 20 クライアント (サーバライセンス含む))
- ・エンタープライズモデル 262 万 5 千円 (上限 50 クライアント (サーバライセンス含む))

< 紹介ホームページ >

<http://hitachisoft.jp/products/ic/solution/icotsslogger/>

< 本件に関するお問い合わせ先 >

担当部署: @Sales24

ホームページ <http://sales24.hitachisoft.jp/> Tel: 03-5479-8831

< 報道機関からのお問い合わせ先 >

担当部署: CSR 本部広報 IR 部 担当: 竹橋、高野

Tel: 03-5780-2013 E-mail: [press@hitachisoft.jp](mailto:press@hitachisoft.jp)

Microsoft、Windows、Windows Server、SQL Server、Windows Vista、Excel は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Pentium は、米国インテル社の登録商標です。

iCOT は日立ソフトの登録商標です。

SSLogger は日立ソフトの商標です。

その他記載されている会社名、システム名、製品名は一般に各社の商標、又は登録商標です。

日立ソフトの正式名称は、日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社です。

日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社

〒140-0002 東京都品川区東品川4丁目12番7号 (日立ソフトタワーA)  
TEL. (03) 5780-2111 (大代)

ホームページ <http://hitachisoft.jp/>